

## I 『われらの子ども』制作秘(?)話

(1) 『われらの子ども』ってどんな本？

- ・アメリカの政治学者パットナム ・「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」がキーワード

(2) ひょんなことから125周年記念企画の担当に…

- ・編集者はけっこう流動的 ・エージェントからの紹介 ・ボスからの指令

(3) 翻訳本の編集の流れ

(企画立案&会議通過→交渉契約&アドバンス支払い→翻訳依頼)→原稿催促&出来→原稿整理→組版発注→装丁原稿作成、発注→校正→目次・索引等の原稿作り→ページ数確定、原価計算→価格&部数決定→宣伝開始、チラシ・特設ページ作成手配→原出版社チェック→推薦依頼→入稿→色校→校了(泣く)→出版契約書作成→献本リストの作成&ラベル・送付状作成→見本出来(泣く)→献本送付→SNS発信、リアクションのチェック、取材等の対応、販促物の作成 etc…

(4) ひとりの闘い

- ・初めてのことが多すぎる ・ページがちょっと多すぎる ・企画の規模がでかすぎる

(5) チームの闘い

- ・外部校正者さまざま ・訳者との共闘 ・複数の販促チーム(推薦・献本、営業部、宣伝広告)

(6) 編集者の役得♡

- ・まず手に取らない分野に踏み込む ・ささいな経験が生きてくる ・著者パットナム氏と会う

## II 『われらの子ども』の話

読んでみて、どう思った？/自分の問題にひきつけて考える/階段を登った者がすべきこと

## III 編集者は普段こんなこともしています(参加者のみなさんが気になったものを取り上げて話します)

〈編集業務〉(先述のほかに)新企画立案、著者候補と面会、学会やイベントへの顔出し・書籍販売、各種許可申請、パブ対応、著者購入対応、企画持ち込み対応、販促宣伝(SNSやPOPづくり) etc.

〈庶務業務〉電話取り/会議の準備/営業部との連絡窓口/「これ本」窓口/新聞広告版下作成 etc.

〈委員会・部会業務〉HP&SNS委員、新規メディア委員、キャラ創作部会、創作支援本部会

## IV 質疑応答

### ●参加者のみなさんへ質問●

- ・自腹で買った一番高い本はいくらですか。
- ・こうしてくれたら本をもっと読むのに…という希望はありますか。
- ・大学生として何に力を入れてますか。